



高等学校试用教材

日语教程

5

大连工学院 徐明主编

高等学校试用教材

日 语 教 程

5

大连工学院 徐 明 主编

高等教育出版社

内 容 提 要

本书是整套教材的第五册,也是最后一册。共选入课文和课外读物 41 篇,包括新出单词 1500 余个。课文的语法内容较深、较难,全是提高性的文章,适合理工院校高年级学生和科技人员提高日语水平使用。学完本书后将使学习者能够比较熟练地运用学过的日语语法知识,进一步提高阅读和翻译科技文章的能力。

本书责任编辑 尹学义

高等学校试用教材
日 语 教 程

大连工学院 徐 明 主编

高等教育出版社出版
新华书店北京发行所发行
国防出版社印刷厂印装

*

开本 850×1168 1/32 印张 12.25 字数 296,000

1986年9月第1版 1986年9月第1次印刷

印数 00,001—3,700

书号 9010·0274 定价 2.05元

前 言

本教材是根据《高等学校理工科四年制日语教学大纲(草案)》的精神编写的,共由五册组成。教学目的是培养学生能较顺利地阅读本专业书刊,并具有一定的听说写和汉译日的能力。

目前高等学校理工科存在教学起点和目的要求不同的各种日语学习班,如中学未学过日语的学生一外低起点班、中学学过日语的学生一外高起点班、已修完英语的学生或研究生二外班以及各专业研究生的一外提高班,拟赴日进修的专业教师日语班等。本教材是以一外低起点班和一外高起点班为主,并兼顾其它学习班而编写的。使用本教材时,建议一外低起点班从头学起;一外高起点班可从第三册或第二册学起;二外班可从第一册学起,只学课文(二);专业教师日语班可从第一册第二单元学起,只学课文(一);研究生一外班可从第四册或第三册学起。

本教材每册教学时数约为80,课内外之比为1:1~1:1.5。

各课结构大体是:①课文(一)及其生词与词汇语法注释;②课文(二)及其生词与词汇语法注释;③专题语法;④练习;⑤课外读物。

每册教材分成若干单元,每单元之前提出该单元的主要目的和教学安排;每单元之后以某种形式对本单元的主要教学内容进行总结、复习。

课文(一)多为敬体句组成的口语体短文;课文(二)和课外读物多为简体句组成的书面语体文章。前者的量、坡度、难度较小;后者的量、坡度、难度较大。课文和课外读物均采用原文,从日本为外国人编写的日语课本,日本的《国语》和数理化课本、科普读物

和一般科技书刊中选用短小精悍、语言规范、生动有趣、题材新颖、通俗易懂、内容健康的短文,其中一部分根据需要做了某些更动。

课文(二)和课外读物只要求能够朗读、进行语法分析、看懂、正确且通顺地译成汉语;课文(一)除上述要求外,还要求能够背诵整个课文或个别段落、汉译日、听写、就课文内容进行口头问答、用日语叙述课文大意。也就是说,课文(二)和课外读物主要是用来培养阅读能力的,课文(一)则不仅是用来培养阅读能力的,也是用来培养一定的听说写和汉译日能力的。

每册教材均配有教师参考书与课文录音磁带。

本教材的语音教学是用单词、词组和短句进行的,目的是提高学生学习兴趣,提高语音和词汇教学效果。前两册的基础语法是以用言、助动词和助词为主,以用言和助动词的变化及其各变化形用法,特别是动词连用形及其用法为中心进行讲授的,目的是早学原文、多学原文、学以致用,更好地培养阅读原文的能力。

本教材的词汇语法注释较多、较细,是为了便于精讲多练和自学。

鉴于学生入学水平比过去有较大提高,学习条件比已往有较大改进,本教材的教学要求也相应地有所提高。

本书是这套教材的第5册,包括课文(一)(二)共29篇和课外读物12篇。通过这些文章的学习,使前四册学过的4691个单词和词组在音、形、义三个方面大部分得到复习与巩固,再记住1577个新的单词和词组,能够熟练地运用学过的语法和日译汉技巧,正确地理解、比较迅速地阅读和翻译日语科普文与自己所学专业的科技文,并在原有基础上进一步提高一定的听说写和汉译日的能力。

本教材课文(一)、(二)和课外读物的字数(即阅读量)如下:第1册约9500字;第2册约24000字;第3册约28000字;第4册74000字;第5册约80000字,共约215000字。

本教材是在大连工学院各级组织大力支持下编写的。本册由徐明主编,白元昌、周心萍同志协助工作,韩建德和王承伦同志绘图,沈阳体育学院研究生部刘震宇副教授审阅。

本册课文录音者是日本广播协会(NHK)原播音员今村纯一先生。五册教材的课文录音得到长滨照先生、伊势崎实郎先生和其他许多老学友的大力支援。

在此谨向校内外同志、国内外学友的大力协助表示衷心感谢,并请各位老师和同学对本书的缺点、错误给予批评、指正。

编 者

1985年5月

目 录

第 一 单 元

本单元教学安排	1
第 1 课	3
〔课文一〕(1)鼻のはたらき	3
(2)何の役に立つか	5
〔课文二〕生物のすみかとしての地球	10
〔练习〕	18
〔课外读物〕地球と人間の生活	23
第 2 课	28
〔课文一〕(1)ナイロンとビニロン	28
(2)微生物	29
〔课文二〕生きている土	36
〔练习〕	45
〔课外读物〕原子と分子	50
第 3 课	54
〔课文一〕自動車革命	54
〔课文二〕レーダーおよびレーザーとメーザー	60
〔练习〕	71
〔课外读物〕力と慣性の法則	76
第 4 课	80
〔课文一〕(1)いろいろな伝え方	80
(2)漢字の話	81
〔课文二〕海洋エネルギー	85
〔练习〕	94
〔课外读物〕音の高さ・音色・強さ	98
第 5 课	102

〔课文一〕材料の革命	102
〔课文二〕南極の話	109
〔练习〕	119
〔课外读物〕等速度運動	123
第 6 课(单元复习)	126
〔课文一〕アインシュタイン先生の思い出	126
〔课文二〕(1)宇宙船地球号	131
(2)化学反応式と反応機構	135
〔练习〕	140
第一单元附录	145
I 日本語教育映画	145
ちょっと手伝ってくださいませんか	145
II 国際歌 インターナショナル	151
III 1984 年攻读硕士学位研究生日语试题	153

第 二 单 元

本单元教学安排	163
第 7 课	164
〔课文一〕ホントに住めるか月世界	164
〔课文二〕人類初めて月面に立つ	168
〔练习〕	174
〔课外读物〕加速度と力との関係	178
第 8 课	181
〔课文一〕大きい、小さい	181
〔课文二〕数学入門	186
〔练习〕	201
〔课外读物〕重力の加速度と落下運動	206
第 9 课	210
〔课文一〕みつばちの生活	210
〔课文二〕(1)科学と人の心	215

(2)コンパスと定規だけの数学へ不可能の発見	216
〔練習〕	225
〔課外读物〕周期的な運動とケプラーの法則	229
第10課	234
〔课文一〕学科の問題	234
〔课文二〕創造性の発現	239
〔練習〕	256
〔課外读物〕(1)気体の分子運動とボイルの法則	259
(2)エネルギー等分配の法則	261
第11課	265
〔课文一〕体温と衣服	265
〔课文二〕川と人間	270
〔練習〕	280
〔課外读物〕(1)流れの中の圧力	286
(2)層流と乱流	288
第12課(单元复习)	291
〔课文一〕キュリー夫人(一)	291
〔课文二〕キュリー夫人(二)	303
〔練習〕	314
第二单元附录	322
I 日本語教育映画 誕生日祝い	322
II 1985年攻读硕士学位研究生日语试题	328
本册生词总表	340
参考书目与课文出处	384

第一单元

本单元教学安排

课次	教 学 内 容		
	课 文	生词 词组	课 外 读 物
1	(一)(1)鼻のはたらき (2)何の役に立つか	38	地球と人間の生活
	(二)生物のすみかとしての地球	47	
2	(一)(1)ナイロンとビニロン (2)微生物	70	原子と分子
	(二)生きている土	81	
3	(一)自動車革命	49	力と慣性の法則
	(二)レーダーおよびレーザ ーとメーザー	111	
4	(一)(1)いろいろな伝え方 (2)漢字の話	15	音の高さ・音色・強さ
	(二)海洋エネルギー	101	
5	(一)材料革命	46	等速度運動
	(二)南極の話	86	
6 (复习)	(一)アインシュタイン先生 の思い出	50	
	(二)(1)宇宙船地球号 (2)反応式と反応機構	60	

【附录】

I 日本語教育映画

ちょっと手伝ってくださいますか

II 国际歌 インターナショナル

III 1984 年攻读硕士学位研究生日语试题

第 1 課

〔課 文 一〕

(1) 鼻のはたらき

西尾実ら

本を読んだり、景色をながめたりするとき、わたしたちは、目を使います。目は、ものを見るはたらきをするのです。

人の話を聞いたり、もの音を聞いたりするとき、わたしたちは、耳を使います。耳は、ものを聞くはたらきをするのです。

では、わたしたちの顔の真ん中にある鼻は、どんなはたらきをするのでしょうか。

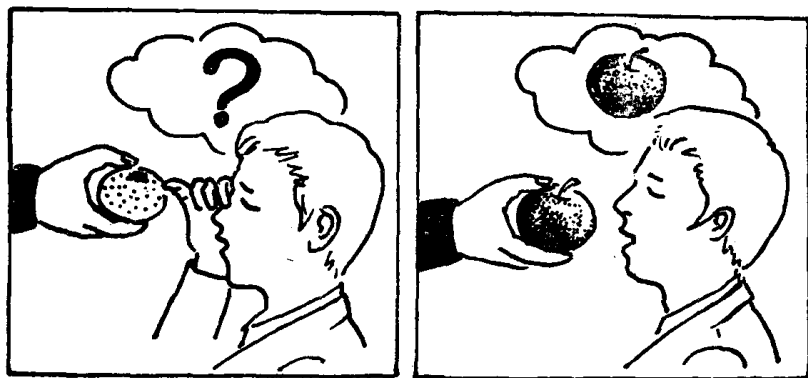


図 1-1

鼻は、においのかぐはたらきをします。「あ、きょうの給食はカレーだな。」

ということが、給食室を見なくても、においでわかります。

目をつぶっている友だちの鼻に、りんごを近づけて、聞いてもらなさい①。

「これはりんご」と②、すぐに当てるでしょう。

このように、鼻は、もののにおいのかぎ分けて知らせてくれます。

では、鼻をふさいだら、においはわかるでしょうか。

試しに、鼻をつまんで、友だちににおいのするものを近づけてもらいましょう。いくら大きく息を吸っても、においはわかりません。

鼻は、食べものの味をよくわからせるはたらきをします。

小ざらを2枚用意します。1枚のさらにはしょう油だけ③、もう1枚のさらには、しょう油にたっぷりわさびを溶きます。そして、鼻をしっかりとつまんで、2枚のさらをかわるがわるなめてみましょう。両方の味は、あまり違いません。

今度は、鼻をつままないでなめてみましょう。わさびの入ったしょう油は、ぴりっと辛い味がします。

わたしたちは、鼻のはたらきによって、食べものをよく味わうことができるのです。

鼻は、息を吸うときに、空気の中のほこりを取り除くはたらきをします。

わたしたちは、口からも息を吸うことができます。けれども、口から吸うと、空気の中のほこりがのどについて、のどを痛めることがあります。

鼻の内側には、細かい毛がたくさん生えています。鼻から息を吸うと、空気は毛の間を通り抜けます。そのとき、鼻の中の毛

が、ほこりをつかまえてくれます。それで、きれいになった空気が、体の中に入ります。

鼻がつまると、どうなりますか。においがわからなくなります。味もよくわかりません。口から息を吸うので、のどが痛くなることもあります。これらは、鼻がよくはたらかなくなったから④のです。



図 1-2

(2) 何の役に立つか

西尾実ら

さるのほお袋

さるは、えさを見つけると、早くたくさんほお張って、急いで

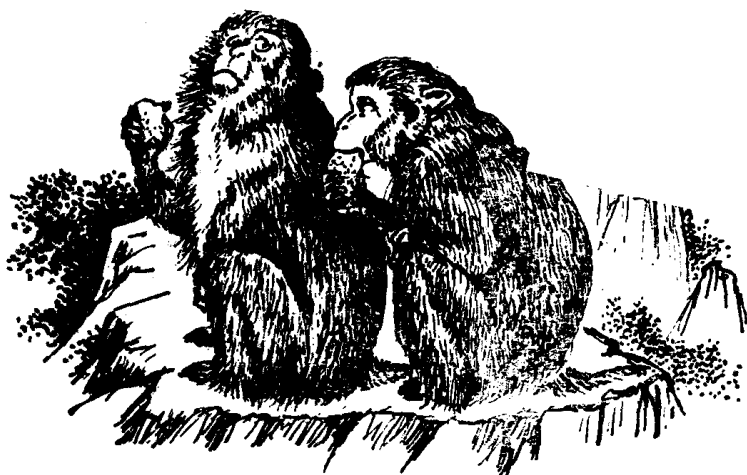


図 1-3

逃げます。そして、安全な場所に行ってから、ゆっくり食べます。

えさをほお張ったときには、さるのほっぺたは、まるでボールでも入れたように膨らんでいます。それは、ほっぺたの内側にある袋に、えさを入れているからです。

この袋を、さるのほお袋と呼んでいます。さるは、この中に、少しの間、食べ物をためておくことができるのです。

らくだのこぶ

らくだは、砂ばくの旅に出ると、何も食べないで、何日も歩くことができます。

らくだの背中には、堅い油の入ったこぶがあります。その油が、少しずつ栄養になって、体を回っています。だから、らくだは、何も食べないで、1週間ぐらい砂ばくの旅を続けることができます。

らくだのこぶの中には水が入っているというのは間違いです。

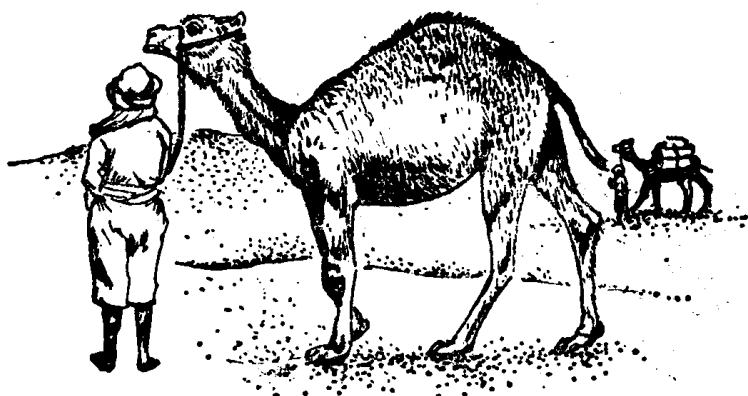


図 1-4

ねずみのしっぽ

ねずみは、ねこに追いかけられると、しっぽを動かしながら走ります。ねずみがしっぽを動かすのは、追いかけるものの目をちらつかせるためです。

また、高い所から飛び降りるときは、しっぽを動かして、体のつり合いを取ります。

ねずみは、歩くときでも、しっぽを引きずりません。後ろにまっすぐ伸ばして歩きます。ねずみは、しっぽを大切にしているのです。

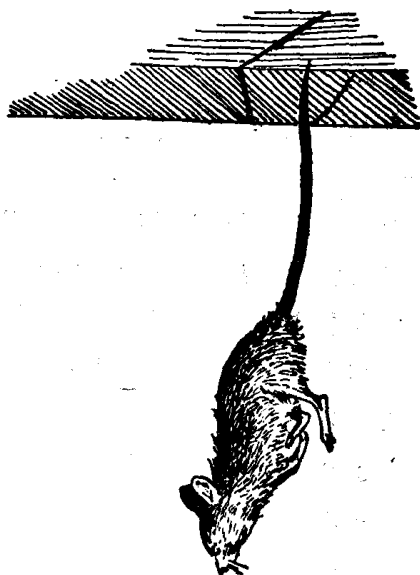


図 1-5

〔生词・词组〕

(1)

- 1 ものおと〔物音〕〈名〉 (某种)声音
- 2 きゅうしょく〔給食〕〈名・自さ〉 小学、工厂为学生、工人提供(的)饮食
- 3 カレー〔curry〕〈名〉 (1)咖喱(粉)。(2)カレーライス〔curry rice〕/咖喱饭
- 4 めをつぶる〔目をつぶる〕〈组〉 闭上眼睛,瞑目
- 5 ごらん(なさい)〔御覧(なさい)〕〈组〉 (“見なさい”的敬语, 前接宾语或动词连接式。なさい有无皆可)(…)看||あれをごら

ん(なさい)。書いてごらん(なさい)。

- 6 あてる[当てる]〈他一〉(1)…を～にあてる/(使…接触、靠近～)打,击,碰,撞,晒,烤。『ボールにバットを当てる/用球棒打球。ボールを壁^{かべ}にあてる/把球打在墙壁上。この薬^{くすり}は光^{ひかり}に当てないでください/此药请不要让太阳晒(要避光)。

(2)猜

- 7 かぎわける[かぎ分ける]〈他一〉 靠嗅觉分辨
8 はなをつまむ[鼻をつまむ]〈组〉 捏鼻子
9 いきをすう[息を吸う]〈组〉 吸气
10 たべもの[食べ物]〈名〉 食物,食品
11 こざら[小ざら]〈名〉 小碟
12 しょうゆ[しょう油]〈名〉 酱油
13 たっぷり〈副〉 充分,足够
14 わさび〈名〉 山蕎菜
15 とく[溶く]〈他五〉 使…熔化,溶解
16 しっかり(と)〈副〉 好好地,充分地,牢牢地。『しっかり
と勉強する。しっかり^{にぎ}握る/牢牢地握住。
17 なめる〈他一〉 舔(尝)
18 りょうほう[両方]〈名〉 双方
19 びりっと〈副〉 辣酥酥地;麻酥酥地
20 あじわう[味わう]〈他五〉 品(尝)
21 ほこり〈名〉 灰尘,尘土
22 いためる[痛める]〈他一〉 弄痛,伤害
23 とおりぬける[通り抜ける]〈自一〉 穿过
24 ～ぬける[抜ける]〈接尾〉 前接动词连用形,表示“穿过去”。『走りぬける/跑着穿过去。駆けぬける/(从…中间)跑过去。潜^{もぐ}りぬける/钻过去。